3 具体的な手立て

- (1) つけたい力を明確にした単元構想
 - ・学年や各単元におけるつけたい力を明確にする

検証問題を決め、単元を構想する

単元の中で思考を深める場面をスパイラルに

自分の考えを文章で表す時間を位置づけする

【学びの12か条+】

- 3 根拠や筋道を明確に表現する力の育成
- 5 目的や条件に応じて「書く」、必要な情報を「読む」態度・姿勢の育成

(2) 自分の考えをかいて表す力の育成

- ・自力解決の時間に、自分の考えを図、絵、式、言葉でかかせる
- ・根拠を明確にして筋道を立てて自分の考えを書くよう指導する
- ・算数用語・定義・図の指導
- ・図を根拠に立式させる
- ・児童の言葉をもとにしたまとめ(低学年)自分でまとめる(高学年)

(3) 学びの深まりを実感できる場面づくり

- ・自分の考えを、友達の考えや前の自分の考えと比較し、再構築する時間を確保する
- ・前の考えは消さずに、比べて聴いて新たな気づきを書き加えたり修正したりする
- ・小単元の最後、大単元の最後にはふり返りを書く
- ・学び合いの授業の最後にはふり返りを書く

ふり返りの視点

- わかったこと・大事なこと変化したこと
- ・さらに学びたいこと ・学んでよかったこと
- ・生活とつなげられること ・これからの学習で生かせる学び方

【学びの12か条+】

- 2 自ら課題を発見し、主体的・協働的に課題を解決する力の育成
- 3 根拠や筋道を明確に表現する力の育成
- 5 目的や条件に応じて「書く」、必要な情報を「読む」態度・姿勢の醸成
- 6 よりよい解決に向かうための質の高い学び合いのプロセスの重視

(4) その他

- ・算数を中心とし、教師の授業づくりの視点や児童の学び方が全教科に広がるようにする。
- ・学力調査をもとにした授業改善に取り組む。

4 検証

- ○定期的に検証し、指導に活かす。【5月、7月、 12月】
 - ・アンケート(児童) (教員)

算数の授業は好きですか。	すき	どちらかというと	どちらかというと	すきではない
		すき	すきではない	
算数の授業で式や図をかくことはできま	できた	だいたいできた	あまりできなかっ	できなかった
したか。			た	
算数の授業で自分の考えをことばで書く	かけた	だいたいかけた	あまりかけなかっ	かけなかった
ことができましたか。			た	
算数の授業でまとめやふり返りをかけま	できた	だいたいできた	あまりできなかっ	できなかった
したか。			た	

- ・単元末+1テスト
 - ねらいにあった過去問題、パワーアッププリント等【単元末】
- ・算数授業改善ふり返りシート(教師)【月末】
- ノート

使い終わったノートは教室で保管し、児童に自分の成長を実感させるための手立てとする。

5 学習を支える取組

- (1) 授業のスタイル
 - 目指す授業の共有、実践
- (2) あたたかな聴き方 あたたかな話し方、かき方
 - ・目指す授業の共有、実践、ノート交流
- (3) 朝学習
 - ・基礎基本、書く力、活用力向上のために取り組む
- (4) 家庭学習
 - ・家庭学習の手引き「家庭学習のすすめ」を使い、家庭学習の取り組み方を指導する。
 - ・家庭学習強化週間を行う。家庭学習強化週間の際に、チェックカードを保護者に見てもらい、 連携をはかる。
- (5) 自学
 - ・自主学習の習慣化、質の向上 自学賞 自学交流
- (6) 学習コーナー
 - ・教科の学習を好きになる児童を増やすように、興味のわく学習コーナーの整備をする。

【学びの12か条+】

- 4 目的や状況・相手に応じて「聞く」「話す」態度・姿勢の醸成
- 8 よりよい学習習慣・生活習慣の定着

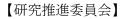
6 人間関係づくり

- (1) 生徒指導の3機能を生かす
 - ・自己有用感を重視する。
- (3) 学級会活動
 - ・自分とみんなと折り合いをつける話し合い活動を大切にする。
- (4) 学校行事・児童会活動
 - ・自分たちの学校生活をよりよくするために話し合い、企画・運営する。
 - ・縦割りの「ポプラチーム」を決め、ポプラ交流会を行う。全学年がゆったりとした気持ちで楽しめる活動を 6 年生が選んだり、事後の振り返りを大切にしたりと、コミュニケーションに重点をおいて活動する。
- (5) 異学年交流
 - ・音読や学習の成果を異学年に発表する。

7 保護者との連携

- (1) 道徳ノートの持ち帰り
 - ・2 ケ月に一度道徳ノートを持ち帰り、サインやコメントをもらい、道徳の学習と家庭をつなぐ。
- (2) キャリアパスポートの持ち帰り
 - ・年度末に1年間の行事等の振り返りと担任からのコメントが書かれたキャリアパスポートを持ち帰り、保護者からもコメントをもらいうことで、児童の成長を共有する。

8 研究組織



校長・教頭・教務主任(学力向上 担当)・研究主任・授業力向上推進 委員

【授業部会】

低学年部会(1年・2年・3年・あおば1・教頭)

高学年部会(4年・あおば2・5年・6年・教務)

学習部 生活部 健康部

9 研究方法

- ・全員公開授業を行い、授業力向上に努める。
- ・研究授業は、部会と研究主任で指導案検討、模擬授業を行う。
- ・授業後には、整理会等を行い、共通理解を図りながら進める。

10 校内研修計画

学期	月	内容	部会	その他の取り組み
_	4.	今年度の方向性・研究計画		生活目標 (月末)
学		研究内容について		授業改善ふり返りシート
期				(毎月)
	5	公開授業 〈GIGA〉		モデル授業 (6年生)
				アンケート
	6	研究授業〈計画訪問〉		家庭学習強化週間
		公開授業		
	7	1学期の成果と課題	1 学期の成果と課題	アンケート
	8	校内研修(講師招聘)		
	9	研究授業〈講師招聘〉		
学				
期	10	公開授業		
		公開授業		
		公開授業		
	11	研究授業(四校会)		家庭学習強化週間
		研究授業(四校会)		
	12	研究のふり返りについて	2 学期の成果と課題	アンケート
=	1	2 学期の成果と課題		
学		研究のまとめ		
期	2	今年度の反省		家庭学習強化週間
	3	次年度の方向づけ		